



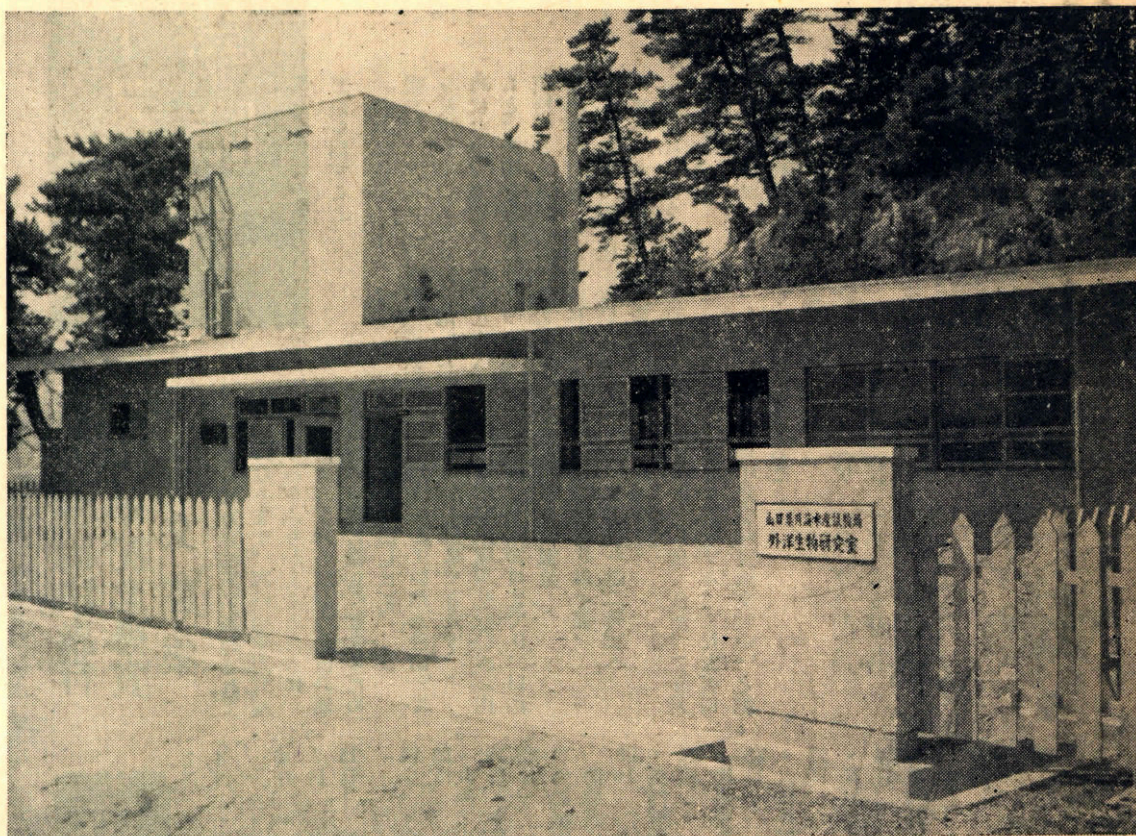
広報

ながと

9月1日

【第249号】

発行 長門市役所
編集人 荒川 惣一



○
として保管して下さい
○

外洋生物研究室完成

外海水産試験場の外洋生物研究室が完成し、8月22日しゅん工式が現地（仙崎花津浦）で行なわれました。この研究室は、山口県が日本海沿岸各県にききかけて開発したウニ、アワビの人工採苗技術を活用し、その量産と放流の試験研究を本格的に進めるために設置したもので、当面は、ウニ、アワビの種苗をそれぞれ毎年十万個放流することを目標にしています。

建物は、鉄筋コンクリート平家建で面積は157平方メートル。内部には、恒温室、循環水槽をはじめ研究や採苗に必要な新しい設備が整っており、総工費830万

円。この研究室には、常時、水産増殖科の職員2名が勤務しますが、6-7月のムラサキウニの採苗時、10-11月のアワビ、バフンウニの採苗時には、さらに2名を増員して試験、研究体制を整備することしております。将来は、サザエ、トコブシなどの人工採苗にも取り組むことを計画しています。

沿岸漁業の不振、漁業資源の減少が憂慮されているとき、ウニ、アワビの人工採苗による大量放流が可能になったことは、沿岸漁業の振興に明るい希望を与えるものであり、その意義はきわめて大きいとえましょう。

人口のうごき (8月1日現在) 29,392人
(先月との比較) 32人増

世帯数 7,047 面積 151.9平方キロ
12世帯増